名古屋市営バス

■時　期　：　1998年

名古屋市が運行する公営バスで、1998年に系統記号が現在のような形に改称

■種　類　：

頭文字（駅名の漢字）＋数字

起点（一部途中停留所）の地名と数字の組み合わせからなっている。頭文字は2文字で市営地下鉄等の駅名が冠されている

■位置・エリア

名古屋市全域、隣接する豊山町、大治町、清洲市、尾張旭市、豊明市、春日井市の一部

■実施にあたっての工夫点

【大規模な路線網を基幹、幹線、一般等、大きく分類し系統化】

・頭文字は2文字（元々駅名が1文字の栄・原は除く）。その上で幹線系統は先頭に「幹」をつけた上で1から、一般系統は11から付番している。番号はおおむね起点から見て北から時計回りに設定されている。

・このほかに各区内を巡回する地域巡回系統を運行しているが、こちらは「区名・支所名＋巡回」を名称としており、ナンバリングは採用していない。（例：千種巡回）

路線網を、分類・系統化して、把握しやすくしている

■市バス系統一覧（例）

系統記号	起　点	経　由	終　点	営業所
基幹1	栄	高辻	星崎・鳴尾車庫	鳴尾
			笠寺駅	
基幹2	栄	茶屋ケ坂	引山・四軒家	浄心
	名古屋駅		猪高車庫	
C-758	名古屋駅	大須本町通	名古屋駅	
高速1	栄	有松町口無池	森の里団地	鳴尾
幹名駅1	名古屋駅	東区役所	上飯田	浄心
		白壁・平安通	大曽根	
幹名駅2	名古屋駅	長良橋	東海橋・野跡駅	
名駅11	名古屋駅	名西橋（左まわり）	名古屋駅	
名駅12	名古屋駅	西区役所	如意車庫前	如意
名駅13	名古屋駅	辻本通	上飯田	楠
		愛工前	中切町	

■市バス路線図

【地下鉄の起点駅名を頭文字に使用し系統化】

起点は市営地下鉄等の駅名が冠されているため、土地勘のない場所で乗るべき系統を探しやすく、バスと地下鉄の連絡乗車に都合がいいように配慮されている。

地下鉄東山線「中村公園」駅を起点とした路線には、系統番号に「中村」の頭文字がつく

【方向幕のカラーリングにより、わかりやすさが向上】

方向幕は起点、系統ごとに色が割り振られており、系統が色で把握できるようになっている

2003年度以降、表示器は幕式ではなくLED表示式（オレンジ）であり、現在全体の約9割のバスがLED表示式となる

主要地域は名駅（緑）、栄（桃）、金山または神宮東門（黒）、それ以外の幹線路線は（青）、その他一般路線は（白）、深夜路線は（黄）

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【地下鉄と連携したバス系統化】

名古屋の地下鉄はナンバリングがされており、地下鉄と市バスにより市内観光が便利に利用できる。

まちなかは、観光ルートバス、都心ループバス、基幹バスが示されている

■観光に便利な、市バスと地下鉄乗り放題のお得な乗車

一日乗車券

ドニチエコきっぷ

一日乗車券は、市バスや地下鉄に一日に何度でもフリー乗車ができ、ドニチエコきっぷは、土曜・日曜・休日・毎月８日に利用できる

■効果・評価

- 大規模な路線網を分かりやすく、移動しやすくするため、バスの系統を基幹、幹線、一般等に区分し、整理した上でナンバリングを行っている。
- 起点となる地下鉄駅等と連携し、地下鉄等の起点駅名を頭文字に使用し系統化を行っていて、乗り換えや駅や場所を把握するのにわかりやすい。

新潟交通

■時　期　：

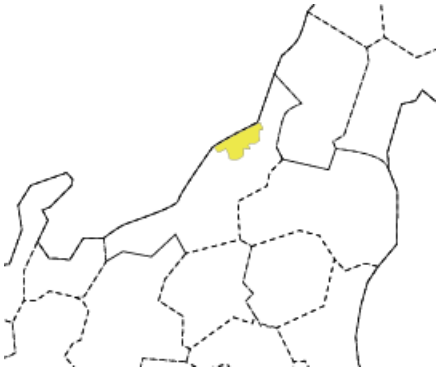
2005年に郊外線への系統番号付与を開始

■種　類　：

頭文字（アルファベット）＋数字

アルファベットは、方角別に4つのエリアに区分
C(中心部)、S(南)、W(西)、E(東)

■位置・エリア



新潟県新潟市（一部隣接市町へ乗り入れ）

■実施にあたっての工夫点

【方角をもとに４つのエリアを系統ナンバリング】

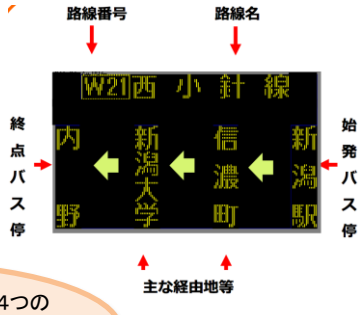
・方面別に、方角をもとに４つにエリアを分けて、アルファベットと数字の系統番号をつけ、カラーリングを行っている。

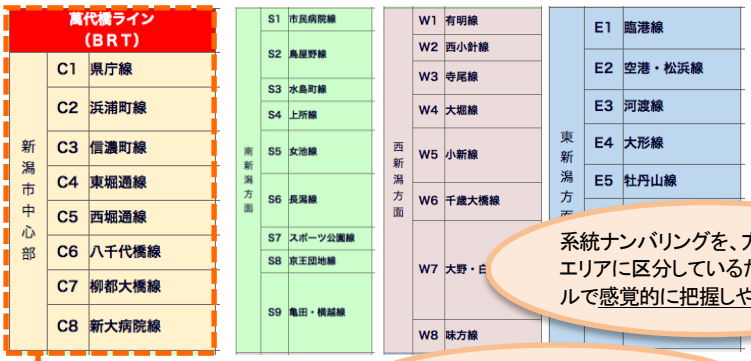
■系統番号

方面	系統	カラー
新潟市中心部	C（センター）	黄色
南新潟方面	S（サウス）	緑
西新潟方面	W（ウエスト）	茶色
東新潟方面	E（イースト）	青

【バス正面・方向幕の表示例】

【バス側面での表示例】



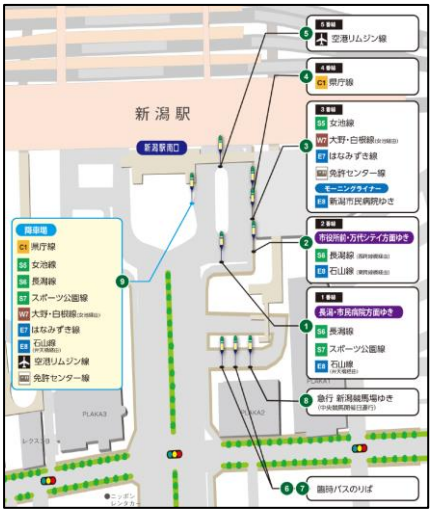


系統ナンバリングを、方角で4つのエリアに区分しているため、シンプルで感覚的に把握しやすい

■新潟中心部のバス路線図

バス路線図も、それぞれエリア別に情報提供されている(HPより)

■新潟南口のバスのりば案内



■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【新潟市の公共交通の総合的な情報提供サイト
（新潟市交通お役立ちサイト）】

・新潟市交通お役立ちサイトは、『Niigata City 乗ろて☆歩こてProject』の一環として、新潟市内の様々な交通情報を発信している。

系統化された情報を、簡潔にわかりやすく提供している

◆新潟市近郊主要バス路線一覧　（平成29年11月18日～）

●「月～金 / 土休日」をクリックすると、運行便ごとに全停留所の時刻表がご覧になれます。

方面別路線図（方面別の地図がご覧いただけます）
※ダイレクト便、モーニングライナーは記載しておりませんので、ご了承ください。

市内中心部	南方面	西方面	東方面

方面	系統	路線名	運行便別時刻表	主な系統	系統図
萬代橋ライン（BRT）			月～金 / 土休日	新潟駅前～万代シテイ～古町～市役所前～青山	
新潟市中心部	C1	県庁線	月～金 / 土休日	市役所前～県庁～新潟駅南口	
	C2	浜浦町線	月～金 / 土休日	新潟駅前～浜浦町～信濃町・西部(営) 新潟駅前～新潟市水族館	
	C3	信濃町線	月-金 / 土休日	新潟駅前～市役所前～信濃町・西部(営)	
	C4	東堀通線	月～金 / 土休日	市役所前～東堀通～入船(営)	
	C5	西堀通線	月～金 / 土休日	市役所前～西堀通～入船(営)・みなとトンネル・臨港病院	
	C6	八千代橋線	月-金 / 土休日	新潟駅前～八千代橋・西堀通～入船(営)	
	C7	柳都大橋線	月-金 / 土休日	新潟駅前～柳都大橋～入船(営)	
	C8	新大病院線	月-金 / 土休日	新潟駅前～八千代橋・川端町～新潟大学病院	
	S1	市民病院線	月-金 / 土休日	新潟大学病院・市役所前～がんセンター前～新潟市民病院	
	S2	鳥屋野線	月-金 / 土休日	新潟駅前～鳥屋野～曽野木ニュータウン・嘉木 新潟駅前～鳥屋野～酒屋車庫・小須戸	

■効果・評価

・　市内を、C（センター）・南方面 S（サウス）・西方面　W（ウエスト）・東方面　E（イースト）の４つのエリアに大きく区分し、身近なアルファベットによる階層化を行っているため、行き先を探すのに把握しやすい。

西東京バス株式会社

■時　期　：　1992年4月6日

1992年4月6日のダイヤ改正より、八王子地区において、方向幕の方面別色分けが実施されたが、現在は実施していない（過去の事例）。

■種　類　：

頭文字＋数字（２桁）

頭文字は方面別に地名等の頭文字となる漢字をあて、これに数字を組み合わせたもの

■位置・エリア

東京都西部（山梨県の一部含む）
八王子市・日野市・昭島市・立川市・福生市・羽村市・青梅市・あきる野市・日の出町・檜原村・奥多摩町

■実施にあたっての工夫点

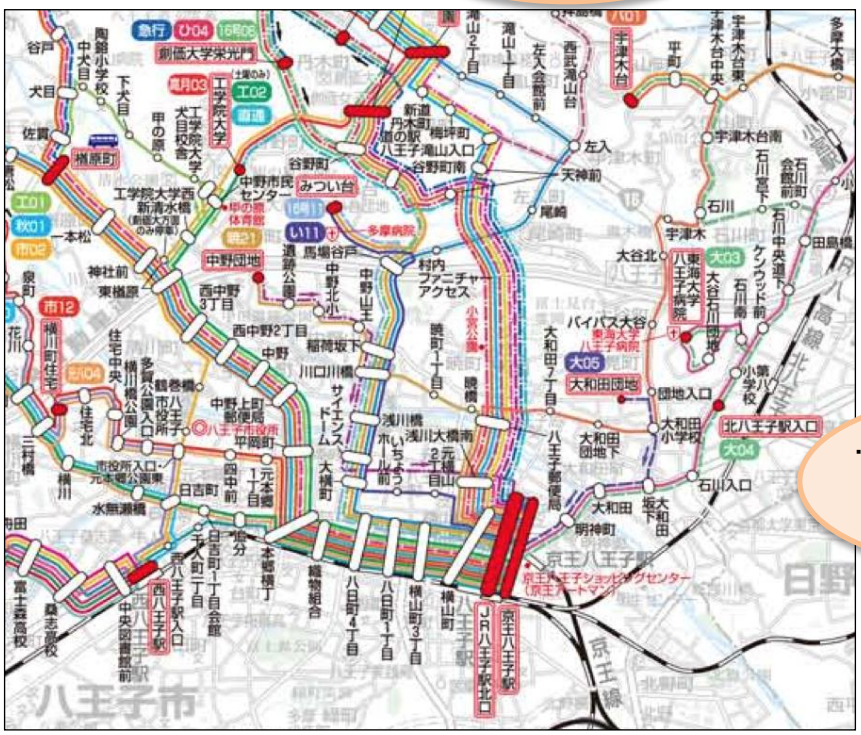
【行き先をイメージさせる系統番号】

八王子エリアは、短長の路線が複雑に通っているため、行き先を伝える系統番号が有効

・現在は、方向幕がLED表示に変わっており、カラーリングはなくなっている。

【方面別カラーリング（当時）】

バス路線図



頭文字の例

頭文字	行き先
秋	秋川街道方面
市	市役所方面
陣	陣馬街道方面
工	工学院方面
大	大和田方面
16号	国道16号方面
ひ	ひよどり経由

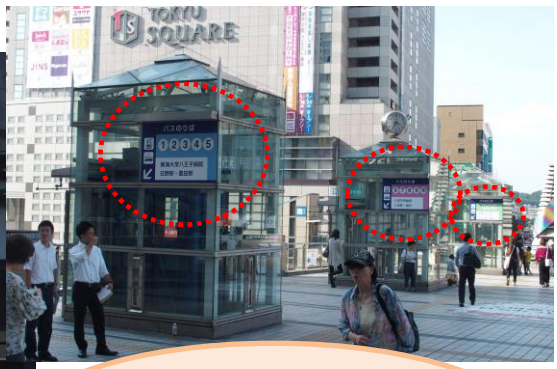
・方面をイメージさせる頭文字は、行き先を案内する記号として寄与している

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【系統が多く把握しづらい駅前バスのりばの、わかりやすいカラーリング】

駅前広場上がデッキとなっており、地上部のバスのりばが見えない中、バスのりばの島ごとに色分けし、アクセスするエレベータやエスカレータ、階段等をサインとして利用することで、系統化をより分かりやすくしている。

駅前のバスのりば案内図



エレベータの上屋をサイン塔として活用し、カラーリングにより位置関係を把握しやすいように工夫している

系統別に整理された乗り場を、さらに3つの島でカラーリングし、分かりやすく整理している。

階段部には、さらに細かな情報をサインにより提供している

■効果・評価

- 系統化による方面別の区分けと、バスのりばのカラーリングによる案内表示で、デッキとなる駅前広場でわかりやすくバスの案内を行っている。

箱根登山バス

■時　期　：　2010年（平成22年）6月15日

伊豆箱根バス・小田急箱根高速バス・沼津登山東海バスと連携し、箱根地区の路線に系統記号を設定。路線図も各社共通の様式で作成した上で各停留所や案内所で掲出

■種　類　：

頭文字（行き先表示のアルファベット）

アルファベットは、方面別の代表的な地名の頭文字
数字は行き先番号からなる

■位置・エリア（箱根エリア）：

神奈川県小田原市、箱根町、御殿場市

実施にあたっての工夫点

【アルファベットの頭文字は、英文字表記の行き先表示と呼応し、わかりやすい】

バス路線の系統を記号化し、「バス車両のLED行き先表示」「バス停」「路線図」等に表示している

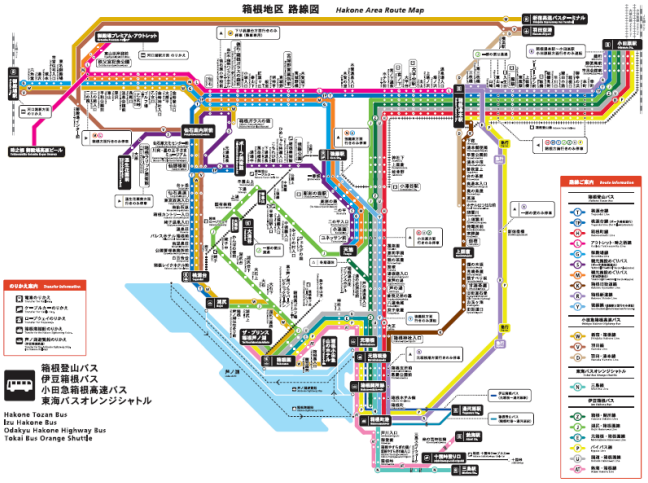
■バス車体の表示

・行き先は英文字表記をしており、頭文字のナンバリングが、外国人でも理解でき、記憶しやすい
・シンボルマークも掲出し、色で認識

前方表示板　↑　　側面表示板　↑

■路線図

箱根エリアでは、バス路線を、系統別にアルファベット記号とラインカラーで表記されているので、初めての人でもわかりやすく、安心してご利用できる。



・3社のバス路線に加えて、鉄道やケーブルカー、ロープウエイ、船等の交通手段が併記されている

■バス停留所の表示

・バス停を経由する敬老の路線及び路線図等の情報も付加

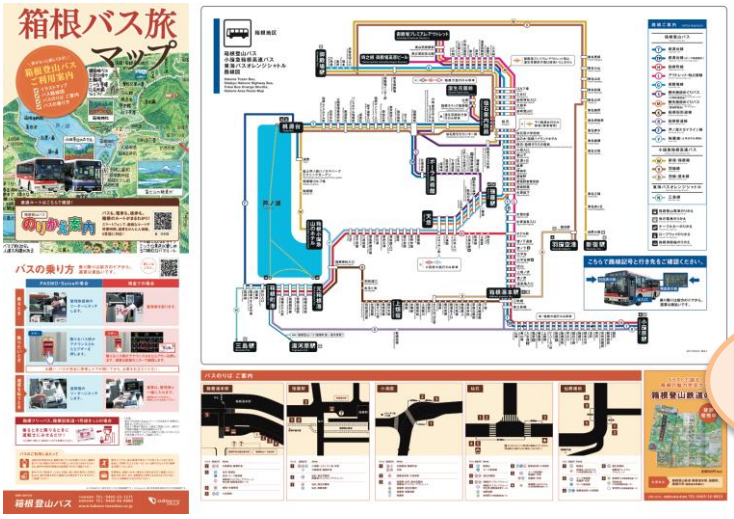
■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【ホームページ・観光マップ等における、わかりやすい観光案内の充実】

・利用者に対し、視点を変えて観光情報のサイドメニューを設けている

・御殿場アウトレットと箱根地域のアクセスの情報提供も行っている。

[観光マップ]



・バス旅マップは、バス路線エリアが観光エリアとリンクしており、わかりやすく使いやすいイメージ

■効果・評価

- 国際観光地として、表示の頭文字のナンバリングと英文字表記が同時に視認でき、カラーリングも展開されているため、外国人はもとより誰でも理解でき、記憶しやすい
- エリアの様々な交通手段を総合的に把握し、移動できるマップや観光パンフレット等の情報提供をおこなっている。

八戸市

■時　期　：　2010年（平成22年）4月1日

八戸市交通部(八戸市営バス)、南部バス(当時)、十和田観光電鉄(十鉄バス)共通の路線ナンバリングによる行先表示がなされた。2009年に詳細が決定し、3事業者同時に2010年4月1日のダイヤ改正時より、バスの方向幕への表示が開始された。

■種　類　：

・頭文字（アルファベット）＋数字

アルファベットは、方面別の代表的な地名を連想。
数字は行き先番号からなる。

■位置・エリア

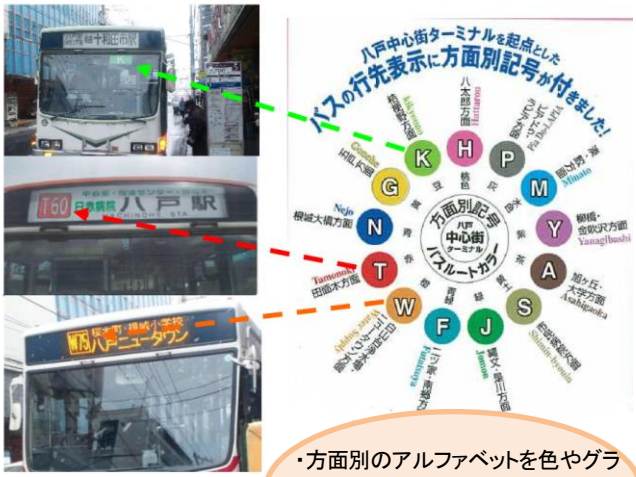
青森県八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町
階上町、新郷村、おいらせ町

■実施にあたっての工夫点

【路線ナンバリングとバスルートカラーを方面別に分かりやすく展開している（３事業者で共通化して実施）】

・主要バス路線について、方面別のアルファベット記号と行き先番号からなる「路線ナンバリング」と方面毎の「バスルートカラー」を設定
・バス車両の行先表示(LED、方向幕、補助サインボード)にもナンバリング

「中心街(三日町・八日町・中央通り・朔日町・六日町)」を終点とする行先表示は「C(Central)」とするほか、方面別の代表的な地名をアルファベット記号で作成し、路線図を「ルートカラー」で表示する。さらに、具体の行き先を２桁の数字で示す。

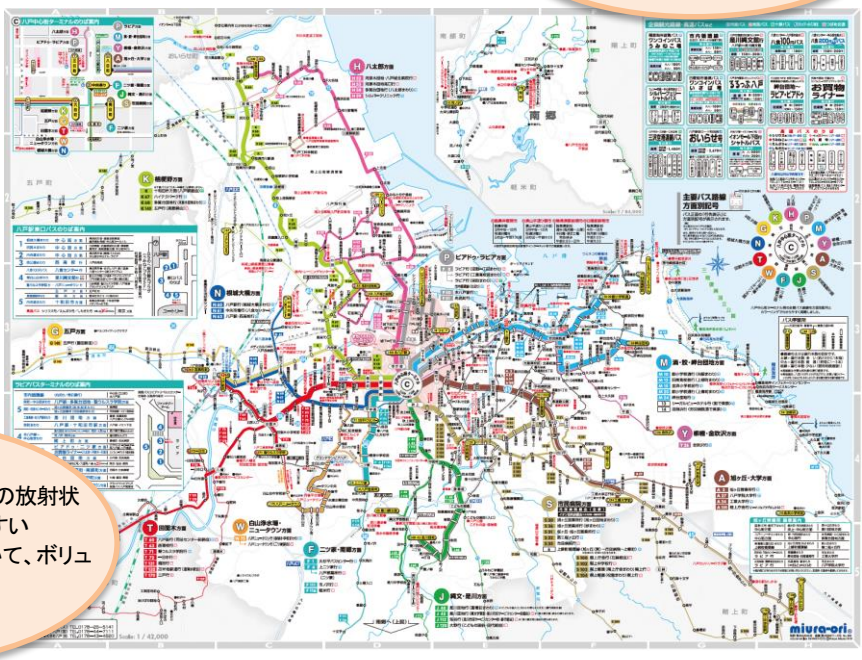


・方面別のアルファベットを色やグラフィック処理で目立たせることで、一目でどの方向に向かうかわかる

【路線ナンバリングと連動した、わかりやすい「バスマップはちのへ」】

・「バスマップはちのへ」は、市内で路線バスを運行している３事業者の路線図を一本化。中心街を基点とした路線網の特徴を、方面別のアルファベット記号とカラーリングによってわかりやすくデザインされている。

・中心街などのバス乗り場案内や、バスの基本的な利用方法なども掲載している。



・路線のナンバリングは、実際の放射状のルートと連動して把握しやすい
・路線の本数を線の太さに用いて、ボリュームが把握しやすい

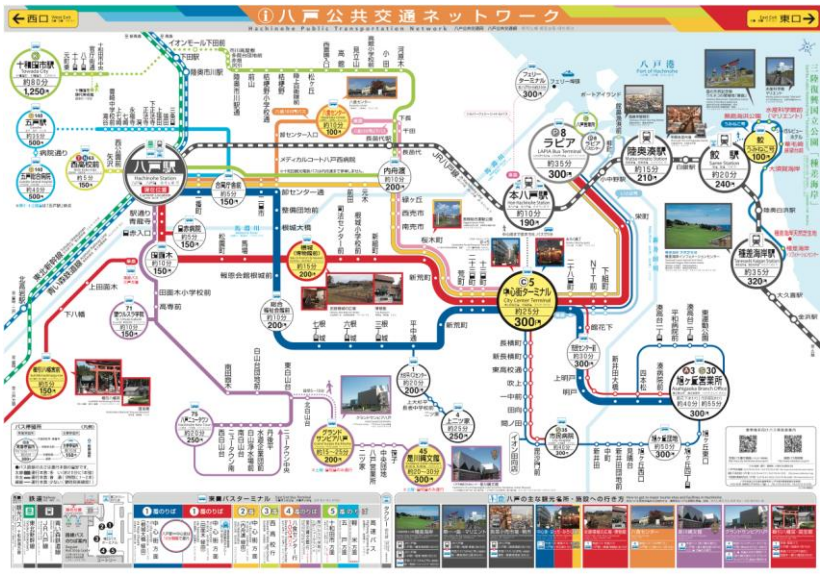
■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【地域の交通網を単純に表現したターミナル路線図・情報ツールラックの整備】

市内各方面の乗継拠点において、乗継案内サインの整備などを行い、来訪者や地域住民が欲しい情報ツールが手に入るよう、八戸駅、本八戸駅、鮫駅、旭ヶ丘営業所、中心街の5箇所にターミナル路線図・情報ツールラックを設置している。

・現在地からの鉄道・バス路線が方面別に色分けされた、わかりやすく大きな路線図を掲載
・増加傾向にある訪日外国人観光客への対応として、路線図にはピクトグラムを掲載するとともに、主要な駅名、バス停名、観光施設名等は、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語でも表記
・リーフレットスペースにバスマップや企画乗車券チラシを設置

《八戸駅東西自由通路のターミナル路線図》



【方面別バスルートカラーを表記したバス停の整備】

・バス停留所を方面別バスルートカラーと合わせた統一デザインとすることで、誰でもわかりやすく利用できる環境を整備

■効果・評価

・異なる事業者による停留所の統合や共同運行、結節拠点の形成、情報提供の一元化等、統合・連携することで、利用者にとって使いやすくわかりやすい公共交通の形成につながった。

・鉄道と比べあまりにも多すぎる情報量をわかりやすく編集した。

広島県バス協会

■時　期　：　2014年11月

広島都市圏のバス事業者９社等で、統一したルールでの路線番号を設定、順次車両への表示を進めている。

■種　類　：

数字　（＋　アルファベット）

主な方向を示す番号に枝番（数字かアルファベット）

■位置・エリア

広島都市圏（広島市及び周辺）

■実施にあたっての工夫点

【バス９社が統一ルールで、広島都市圏の路線番号を導入。行き先は「路線番号」で知ることができる】

広島都市圏の全体に、数字とアルファベットで構成する統一したルールに沿った路線番号を設定した。複数のバス会社が走っていても、番号を見ればわかる

都心部から郊外へ向かうときと、戻るときでは枝番が異なる

■広島都市圏路線番号図

広島都市圏を6つのエリアにナンバリング
主な方面は統一し、都心部へ向かう場合は、枝番で経由地目的地がわかるようになっている

▼都心部の通り方は４種類です

- H　相生通り（八丁堀）を経由（Hatchobori）
- G　城南通り（合同庁舎）を経由（Godo chosha）
- K　紙屋町・県庁・広島バスセンター止まり（Kamiya-cho Kencho）　相生通りも城南通りも通りません。
- S　広島駅止まり（Station）　相生通りも城南通りも通りません。

南部（旧市内・仁保・吉島）方面　※11番・14番以外は、既存の番号です
宇品・吉島・観音・江波・西広島・牛田・洋光台など

起点ゆき	起点	経由地	終点	終点ゆき	運行会社
2	県庁	広島駅	府中永田	2-1	広島電鉄
			府中山田	2-2	
			府中ニュータウン	2-5	
			府中ニュータウン(南公民館経由)	2-6	
	市役所		温品四丁目	2-7	
	県庁		府中山田(イオンモール経由)	2-11	
3	広島駅	八丁堀	ヘリポート・マリーナホップ	3	
4	県庁	広島駅	仁保車庫前・向洋新町車庫	4	
5	牛田早稲田	広島駅	大学病院	5	
			牛田早稲田	5	
6	牛田早稲田	八丁堀・市役所	江波	6	
7	横川	紙屋町・市役所	向洋	7	
8	横川駅	中広	ヘリポート・マリーナホップ	8	
10	己斐	市役所	旭町	10	
11	西広島		広電己斐団地	11	ボン・バス
			フジハイツ		
			イトーピアマンション		
			五月が丘団地		
			大迫団地		
	八丁堀		もみじが丘		
12	東浄小学校	八丁堀	仁保沖町	12	広島電鉄
			旭町		
		市役所	仁保沖町		

中心部の路線図の部分

郊外のバス路線は簡略化し、系統名や停留所名を枠でくくり、主要停留所を強調して表示するなど、わかりやすく表現

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【市内の観光地や中心部へのバス案内をのりばや路線番号で簡潔に案内している】

■行き先別のりば案内

目的地	広島駅南口から			八丁堀・紙屋町から		
	のりば	路線番号・行き先	最寄バス停	のりば	路線番号・行き先	最寄バス停
平和記念公園 広島国際会議場	3	24 吉島病院・吉島営業所	平和記念公園	13 30 31	24 吉島病院・吉島営業所	平和記念公園
原爆ドーム	7	22 三滝観音・紙屋大橋	原爆ドーム前	13 29	22 三滝観音・紙屋大橋	原爆ドーム前
宮島		JRで宮島口駅へ → 徒歩 → 宮島口から	フェリーへ乗換	路面電車で広電宮島口駅へ → 徒歩 → 宮島口から	フェリーへ乗換	
広島城・広島護国神社 ひろしま美術館	7 8	30 高陽A団地・高陽B団地・高陽C団地	合同庁舎前		徒歩	
縮景園 広島県立美術館	21	26 旭町	縮景園入口	4 12	12 東浄小学校	
比治山公園 広島市現代美術館	7	31 県病院	段原中央	7 11 23	23-1（比治山トンネル経由）大学病院	段原中央
広島空港	新幹線口	広島空港リムジンバス	広島空港	広島バスセンター2番のりば	広島空港リムジンバス	広島空港
広島バスセンター	7 8	30 高陽A団地・高陽B団地・高陽C団地	広島バスセンター		徒歩	
広島港	2	21 広島港・グランドプリンスホテル	広島港桟橋	13 30 31	21 広島港・グランドプリンスホテル	広島港桟橋

観光地や官公庁、病院、大学、商業施設、スポーツ・文化施設等の目的地に対し、のりばや路線番号・行き先等の案内をしている

広島中心部へのおすすめバスを、のりばや路線番号で案内をしている

■広島中心部へのおすすめバス

■効果・評価

- 複数のバス事業者が運行する広島都市圏のバスは「わかりにくい、わかりやすくしてほしい」という利用者の声が多く、統一したルールでの路線番号を導入。広島県バス協会が導入を進めた。
- 数字とアルファベットで構成する行先を示す路線番号により、利用頻度の低い利用者や外国人にも分かりやすくなった。

北陸鉄道株式会社

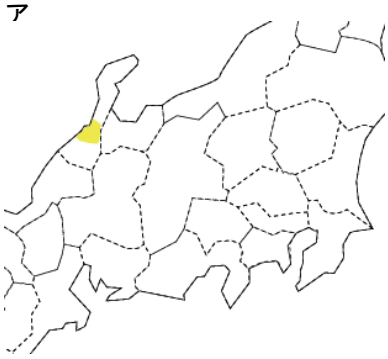
■時　期　：　不明

■種　類　：

数字（２桁）

方面別に2桁の数字を組み合わせたもの

■位置・エリア



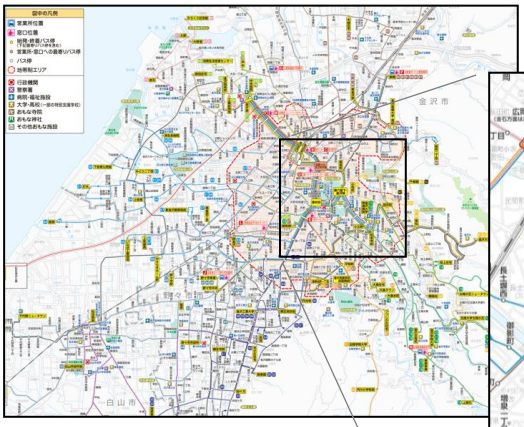
石川県金沢市、野々市市、白山市、能美市、川北町、津幡町、内灘町

■実施にあたっての工夫点

【方面別の系統番号】

バス路線の系統番号（２桁の数字）は、「バス車両の行き先表示」「バス停」「路線図」等に表示されて

金沢近郊バス路線図



金沢駅周辺図

【方面別カラーリング】

金沢市内一般路線バスに方面別にカラーリングを行っている。この表記は、方向幕採用のバスや金沢駅の案内表示に見ることができる。
（路線図の色分けは若干色が異なる場合がある）

系統番号	行き先	カラー
00番台	石川県庁方面 シティライナー	白地に黄緑
10番台	小立野・本多町方面	緑地に白
20番台	寺町・野田方面	オレンジ地に白
30番台	円光寺・四十万・工業大学方面	青地に白
40番台	野々市・松任方面	白地に黒
50番台	安原・示野・西金沢・古府方面	白地に青色
60番台	金石方面	白地にオレンジ
70番台	諸江・内灘方面	白地に茶色
80番台	鳴和・森本方面	茶地に白
90番台	旭町・鈴見方面	黄色地に黒

・系統番号は、方面別にカラーリングを行っており、行き先方面は直感的に把握できるようになっている

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【観光周遊バスとの連携】

市内観光には、3つの観光向け路線バスが運行されており、路線バスと系統番号や車両デザイン、停留所等で差別化が図られ、観光客にわかりやすく市内を観光できる。

■バス路線図に盛り込まれた周遊バス路線図

周遊バスは、それぞれアルファベットの系統番号及び、停留所ナンバリングが行われており、目的地と乗降停留所が一目でわかるようになっている

1日フリー乗車券は、周遊バスに加えて、路線バス（上記指定エリア内）を利用可能

■効果・評価

- 周遊バスと路線バスを組み合わせ差別化し、観光や生活等の目的に対応した使いやすい公共交通を、路線や停留所のナンバリング、カラーリングによって顕在化させている。

松江市営バス

■時　期　：

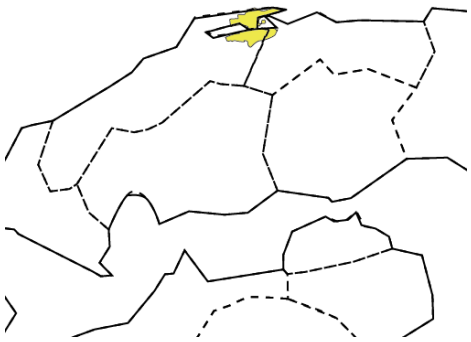
2008年4月1日の時刻改正により松江駅行にも行先番号が設定、行先番号が3桁表示に変更

■種　類　：

数字（３桁表示）

上2桁が行先、下1桁が経由ルート

■位置・エリア



島根県松江市（旧松江市・旧八東町の区域）

■実施にあたっての工夫点

【大規模な路線網を基幹、幹線、一般等、大きく分類し系統化】

行先番号が3桁表示（上2桁が行先、下1桁が経由ルート）

（例：川津行なら 12-1、松江駅行なら 10-0）

■行き先番号（例）

10：松江駅　12：川津　14：平成ニュータウン北
15：あじさい団地・あじさい団地入口　16：テクノアークしまね
17：東高校前　18：四季ヶ丘東
23：かんべの里　24：県合同庁舎前

【松江圏域の事業者を横断したバス路線をまとめた「どこでもバスマップ」】

■どこでもバスマップ

市営バスと一畑バスの系統と行き先

市内のバス路線を1枚にまとめた「どこでもバスマップ」を作成。1日の本数などもビジュアルに示されている

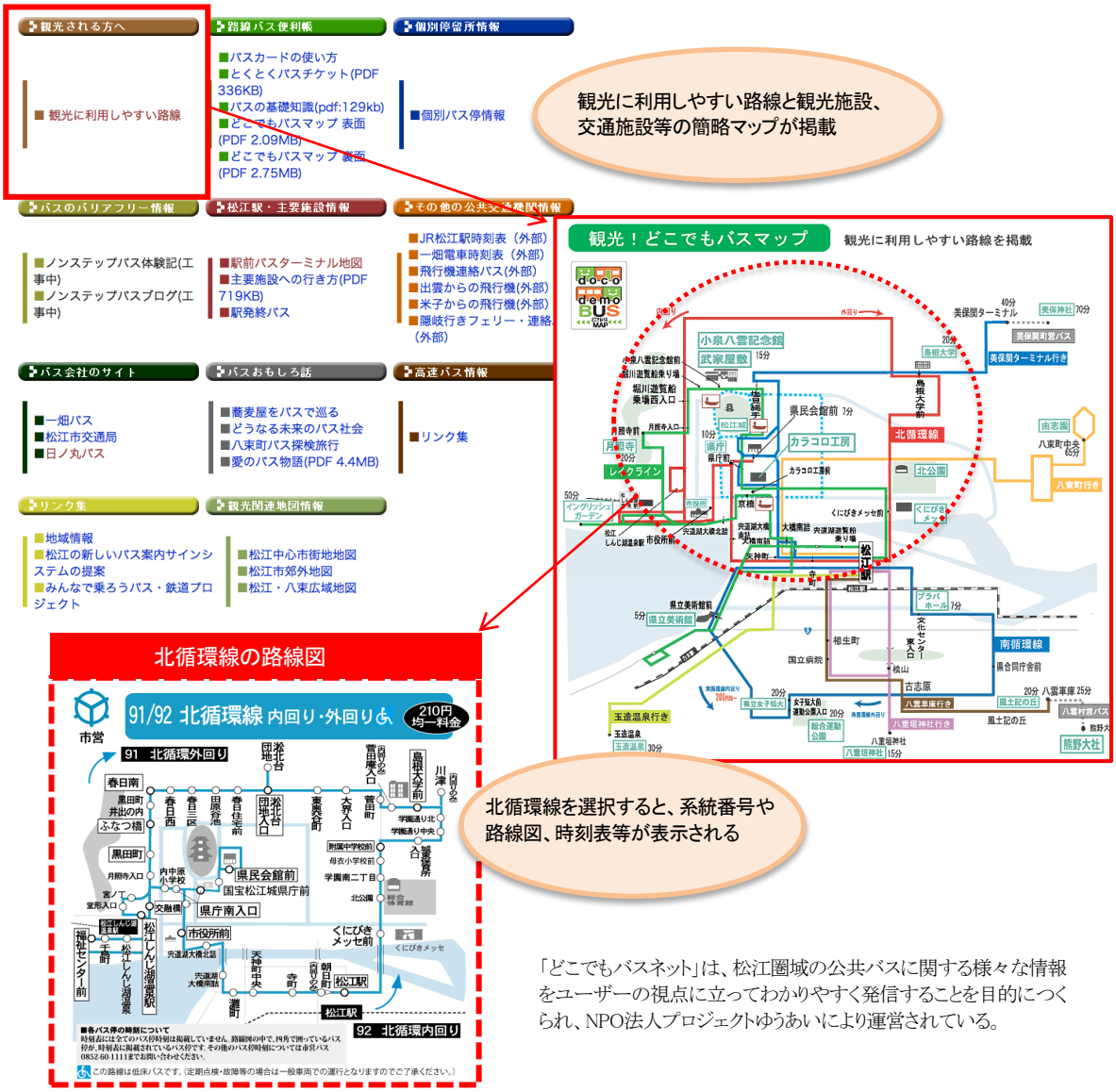
郊外のバス路線は簡略化し、系統名や停留所名を枠でくくり、主要停留所を強調して表示するなど、わかりやすく表現

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【「どこでもバスネット」の、事業者を横断した松江圏域の公共バスに関するポータルサイト】

「どこでもバスネット」は、観光に利用しやすい路線の紹介などを行っている。

■「どこでもバスネット」のHPトップページ



「どこでもバスネット」は、松江圏域の公共バスに関する様々な情報をユーザーの視点に立ってわかりやすく発信することを目的につくられ、NPO法人プロジェクトゆうあいにより運営されている。

■効果・評価

- 競合路線の見直しや、放射型バス路線を中心とし、環状バスやコミュニティバスで補完する路線として再編して、民間バス、市営バス、コミニュティバスの見直しを図る中で、使いやすくわかりやすいバス路線の改善につながった。
- 路線の再編を通して、統一マップや統一のバス情報を提供するサイトの開設に結びついた。

松本電鉄バス

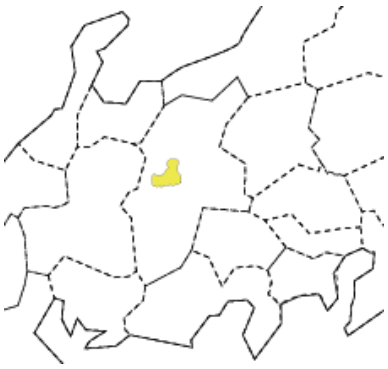
■時　期　：　不明

■種　類　：

数字

行き先を示す番号制（往路と復路で番号が異なる）
２桁と３桁があり、２桁は一般の路線バス
３桁は循環系統路線

■位置・エリア



松本市、安曇野市、上田市、東筑摩郡山形村、塩尻市の一部

■実施にあたっての工夫点

【バスの性格によって区分、系統化したわかりやすいナンバリング】

・系統番号の10の位はバス路線の主な経由地を表す

・系統番号の1の位は運行の方向を表す

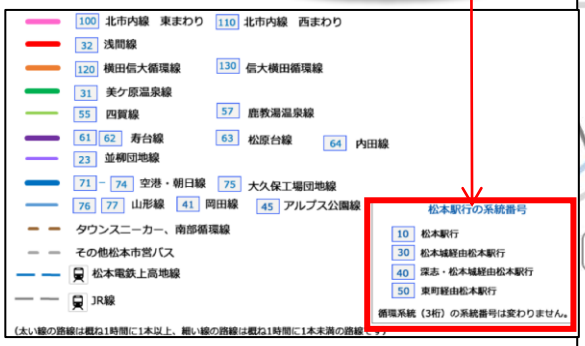
「1～9」:松本駅またはバスターミナル発の便
「0」　:各方面から松本駅または松本バスターミナル行き

・系統番号が3桁のものは、行き・帰りの区別のない循環系統路線を表す

■１０の位の主な経由地

系統番号	主な経由地
20代	松本市美術館経由
30代	松本城経由
40代	蟻ヶ崎経由
50代	東町経由
60代	寿台東口経由
70代	鎌田経由

1の位が「0」の場合は、松本駅行になっている



3桁の系統番号

■市内周遊バス（通称：タウンスニーカー）

系統番号	コース	経路
200	北コース	松本駅お城口発、出発松本城･市役所前、旧開智学校方面
210	東コース	松本駅お城口発、蔵のまち中町、あがたの森公園、松本美術館方面

■市内循環線

系統番号	コース	経路
100	北市内線東まわり	松本駅お城口起終点　～　秀峰学校、横田、信大病院南口、深志高校方面
110	北市内線西まわり	松本駅お城口起終点　～　深志高校、信大病院玄関前、横田、秀峰学校方面

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【充実した周遊バスと差別化されたナンバリング】

タウンスニーカーのデザイン車両、
草間彌生の水玉もある

・系統番号が3桁の循環系統路線が充実し、覚えやすい３桁のナンバリング。

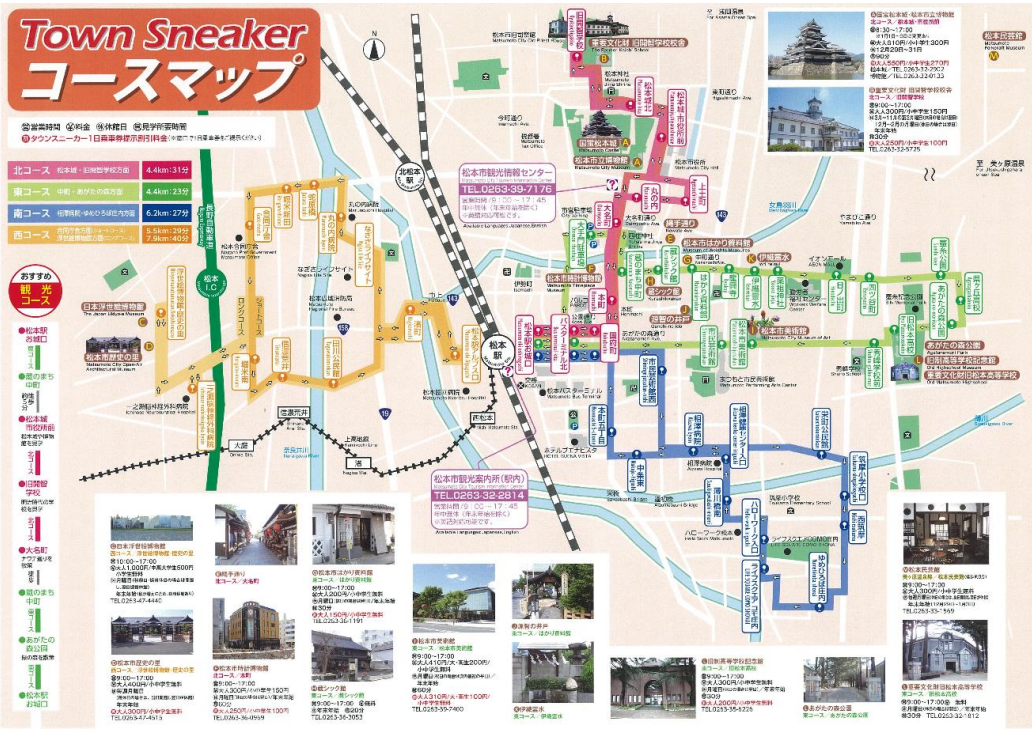
・観光に利用される市内中心部を周遊するタウンスニーカーは４ルートあり、お得な1日乗車券と回数券「ラ・クーポン」も利用できる。

» 市内周遊バス（松本城、松本市役所、あがたの森、相澤病院）

松本周遊バスタウンスニーカー（松本市公式サイトにジャンプします）	【200】北コース 松本駅お城口発、出発松本城・市役所前、旧開智学校方面	200円
	【210】東コース 松本駅お城口発、蔵のまち中町、あがたの森公園、松本美術館方面	200円
	【220】南コース 松本駅お城口発、相澤病院、コモ庄内、ハローワーク方面	150～200円
	【230】西コース 松本駅アルプス口発、なぎさライフサイト、丸の内病院、合同庁舎方面	150～200円

» 松本市街地中央部（信州大学、信大病院、総合体育館、浅間温泉、美ケ原温泉）方面

【100】北市内線東まわり	松本駅お城口起終点 秀峰学校、横田、信大病院南口、深志高校方面	200円
【110】北市内線西まわり	松本駅お城口起終点 深志高校、信大病院玄関前、横田、秀峰学校方面	200円
【120】横田信大循環線	松本バスターミナル起終点 秀峰学校、横田、松本第一高校、信州大学方面	¥ 運賃表
【130】信大横田循環線	松本バスターミナル起終点 信州大学、松本第一高校、横田、秀峰学校方面	¥ 運賃表



■効果・評価

・　行き・帰りの系統番号の付番に工夫がされており、２桁路線は一桁部分が０の場合は松本駅行となっている。

・　観光や主要施設へアクセスする主要なルートとなる循環線は、多ルートが設定されており、３桁のわかりやすい数字を系統番号で設定し差別化している。

横浜市営バス

■時　期　：　1949年（昭和24年）11月20日

当時存在していた運行路線に対して1系統から順番に附番、その後、路線の改変や廃止が繰り返され、新設されるなど現在に至る

■種　類　：

数字

1番から300番台の系統まで存在しており、平成30年8月現在の系統数は134

（附番には規則性はない）

■位置・エリア

横浜市全域（泉区・栄区・瀬谷区には運行なし）

■実施にあたっての工夫点

【昭和２４年から続く系統番号化】

1949年に現在の系統番号制が開始されて以来、当時存在していた運行路線に対して、路線の改変や廃止が繰り返され、その一方で大きな路線変更がなく定着している路線もあり、番号分けと各路線の開設時期や運行方面などは殆ど一致しない。

【観光･福祉等の特殊路線の設定】

観光スポット周遊バスあかいくつ（２ルート）、ぶらり観光SAN路線（３ルート）のほか、市交通局の地域貢献策として2009年（平成21年）12月に試行が開始されたコミュニティバス的性格を持つ生活支援バスサービス（ふれあいバス）など、特殊路線がある。

各系統ともに旅客案内には使用されない書類上の系統番号が与えられている（ぶらり観光SAN路線の野毛山動物園Nルートについては89系統の系統番号が併記）

■方向幕

■市バス路線図

【共同運行を行う民営事業者とは、同等の系統番号で統一している】

民営事業者のバス路線でも、横浜市営バスと共同運行を行っている路線は基本的に民営事業者も同じ系統番号を使用し、横浜市営バスから移譲された路線についても一部を除き系統番号が引き継がれている

（神奈中バス、京浜急行バス、相鉄バス、フジエクスプレスは横浜市営バスと同じ数字のみの系統番号、東急バスは横浜市営バスと共通又は引き継いだ番号に系統頭文字記号が加わる形式（例:青23系統）を用いている）

■ナンバリングと組み合わせた観光施策

【差別化した観光路線の運行と、路線バス、地下鉄を加えた周遊チケットの販売】

観光スポット周遊バス「あかいくつ」に加えて、平成28年10月１日（土）から、新たな３路線「ぶらり観光SAN路線」を運行している。

観光路線については、各ルートの名称の頭文字を用いたアルファベットで系統化、車体デザインやカラーリングなどによる差別化など、観光客にわかりやすく親しみやすい展開を図っている

横浜観光には「あかいくつ」「ぶらり観光SAN路線」のほか、横浜ベイエリアの市営バス、地下鉄が一日乗り降り自由な「みなとぶらりチケット」がある

「Nルート（89系統）」は、市営バス一般系統であり、パンフレットやマップに併記されており、毎日運行されている（「S」「A」は土休日のみ運行）

■効果・評価

- 横浜市の同一区間を走り共同運行している民営事業者とは、同等の系統番号で統一し、利用者にとってわかりやすい。
- 観光周遊バスの系統番号をはじめ車両や停留所等のデザインの差別化により、旅行者にとっては分かりやすく使いやすい公共交通となっている。